

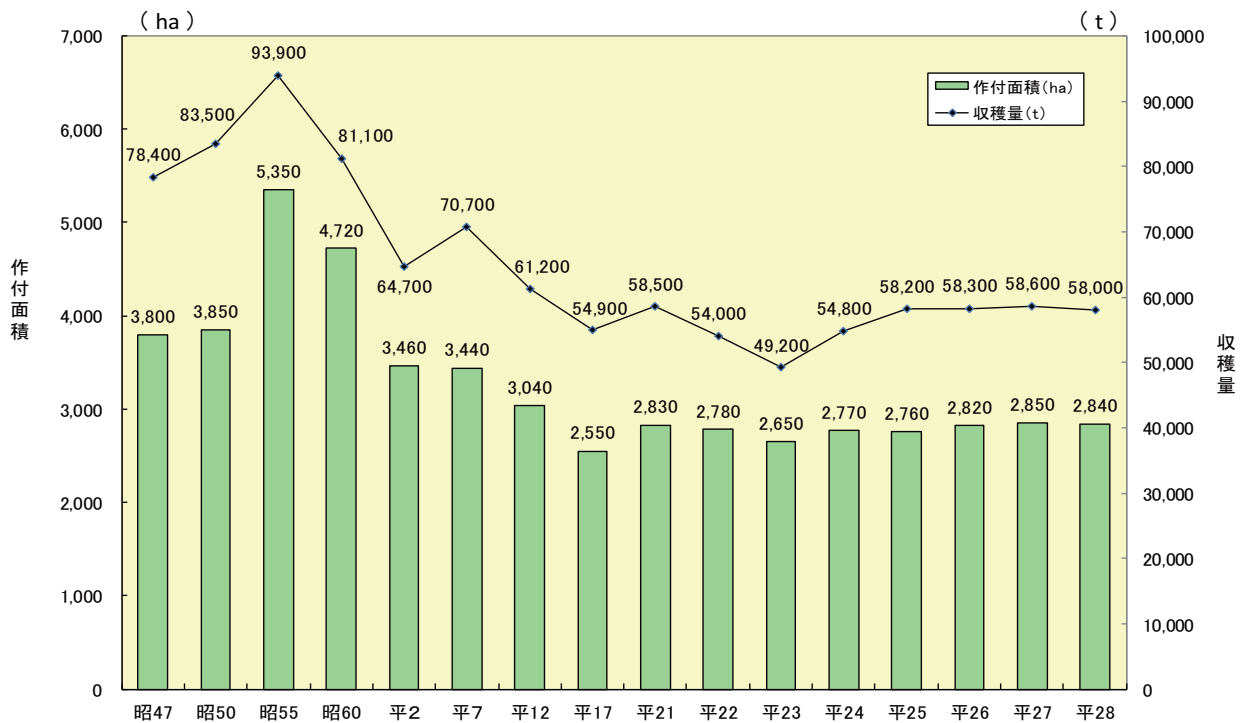
(2) 野菜

本県における野菜の生産は、亜熱帯の温暖な気候を活かした生産振興により、冬春期のさやいんげんやゴーヤーを中心とした県内外消費地への供給産地となっている。

平成28年の野菜産出額は144億円で農業産出額の14.0%を占めており、作付面積が2,840 ha、収穫量が58,000トンとなっている。

近年の生産動向として、トマト、オクラ、かぼちゃ、きゅうり、にんじん等の生産が伸びている。特に、かぼちゃは消費者の安全・安心志向による国産需要の増加で生産が伸びており、離島地域を中心に産地が育成されている。離島地域においては、平成25年度の竹富町に続き、平成26年度は新たに北大東村がかぼちゃの拠点産地として認定され、今後の生産振興が期待される。

野菜生産の推移



資料：内閣府沖縄総合事務局「園芸・工芸農作物市町村別統計書」（平成18年以前）、

農林水産省「作付面積調査」（平成19年以降の作付面積）、沖縄県園芸振興課資料（平成19年以降の収穫量）

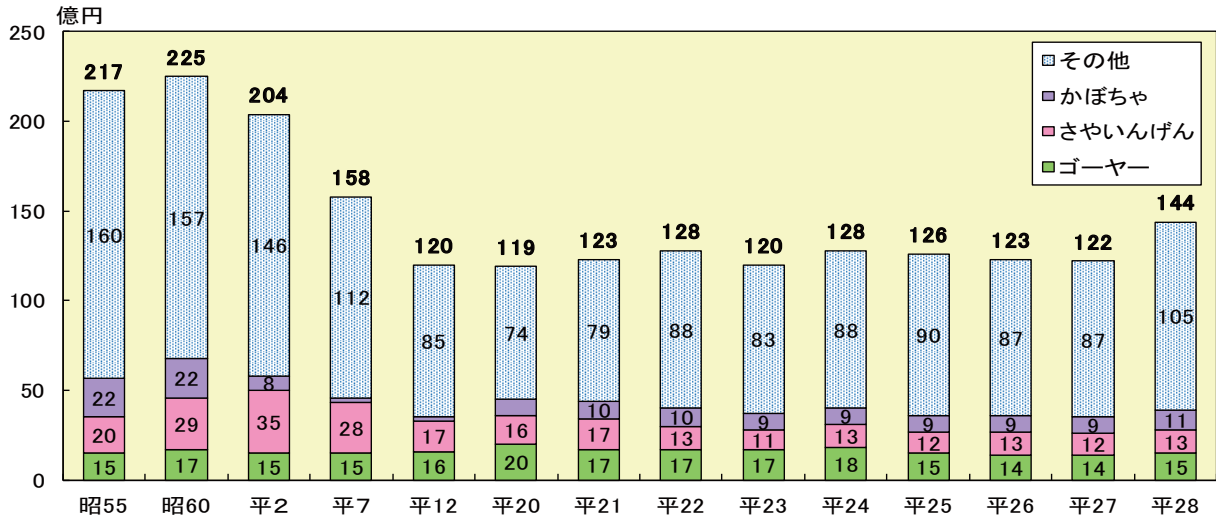
主要品目の全国シェア

	年産	全国における順位	収穫量 (t)		県/全国 (%)	備考
			沖縄県	全国		
ゴーヤー	平28	1位	8,492	21,454	39.6	2位 宮崎県 3位 鹿児島県
とうがん	平28	1位	2,644	10,926	24.2	2位 愛知県 3位 岡山県
オクラ	平28	2位	1,723	12,934	13.3	1位 鹿児島県 3位 高知県
らっきょう	平28	4位	495	10,607	4.7	1位 鳥取県 2位 鹿児島県
さやいんげん	平28	5位	1,800	39,500	4.6	1位 千葉県 2位 福島県
かぼちゃ	平28	8位	3,600	185,300	1.9	1位 北海道 2位 鹿児島県

資料：農林水産省「地域特産野菜の生産状況」（ゴーヤー、とうがん、オクラ、らっきょう）、

農林水産省「野菜生産出荷統計」（さやいんげん、かぼちゃ）

野菜産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」



野菜品評会出品物（さやいんげん）



かぼちゃ

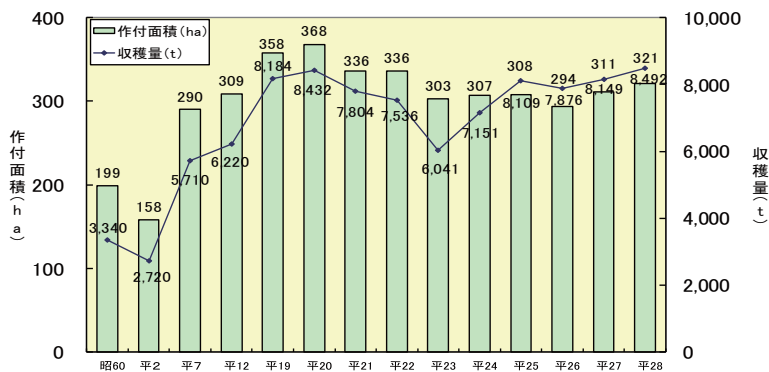


オクラ

ゴーヤーは、本県の野菜生産における主要品目であり、沖縄県農業研究センターにおける優良品種の育成、栽培施設の整備、栽培技術指導、消費拡大対策等により生産拡大されてきた。

平成28年は、産出額が15億円、収穫量が8,492トンとなっている。

ゴーヤーの生産状況



資料：内閣府沖縄総合事務局「園芸・工芸農作物市町村別統計書」、沖縄県園芸振興課資料



ゴーヤーの新品種「ていだみどり」

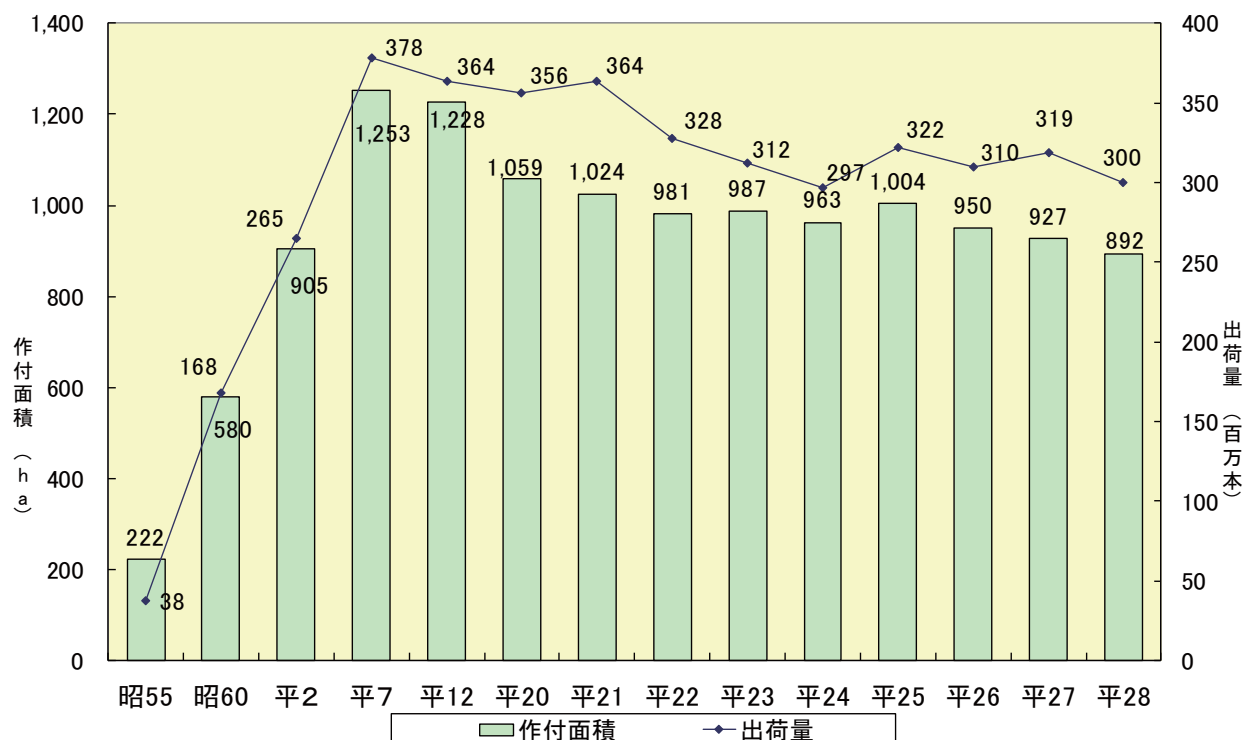
(3) 花き

本県の花き生産は、冬春期の温暖な気象条件を活かし、生産農家や出荷団体等の意欲的な取組と産地育成のための各種施設整備等を行ってきたことにより、拠点産地の形成も進み、きくを中心に着実に増加してきた。

平成28年の産出額は、101億円で農業産出額の10%を占めており、作付面積は892ha、出荷量は切花類300百万本、鉢物類34万鉢となっている。

消費拡大対策として、販売促進キャンペーンや各種展示会・フラワーアレンジ教室等を開催している。

花き生産の推移



資料：沖縄県園芸振興課資料

注：出荷量は、切り花のみの実績である。

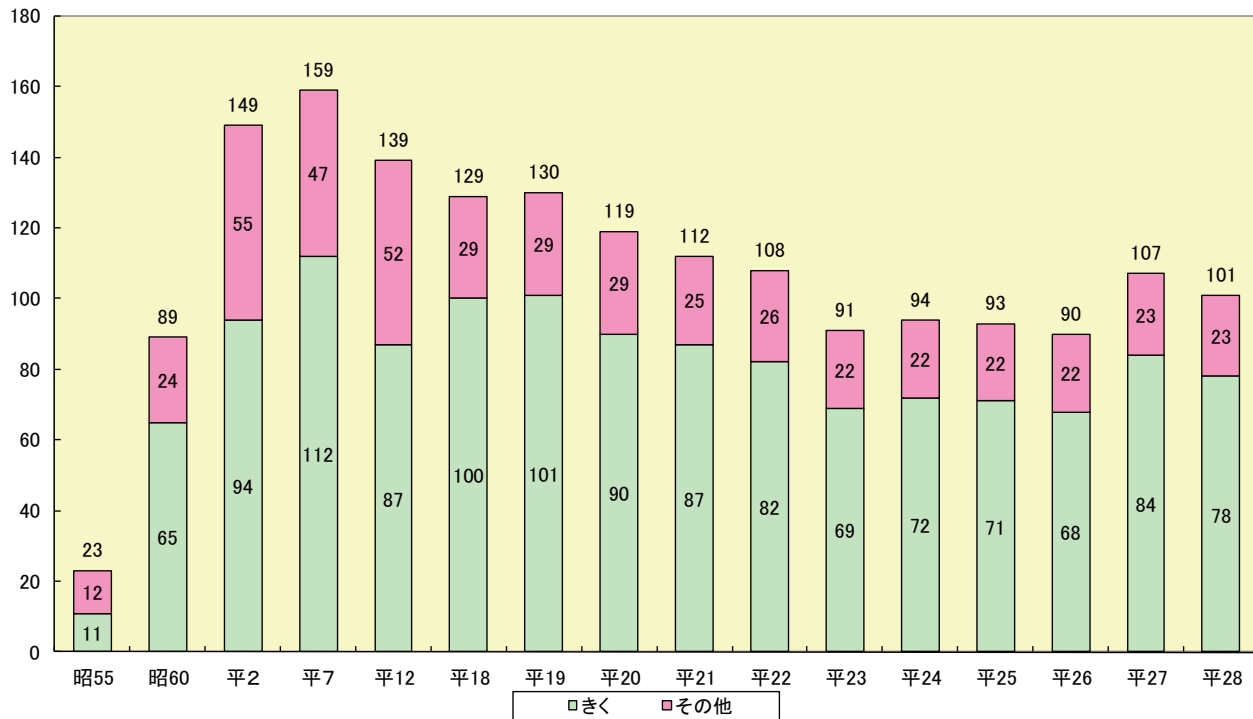
主要品目の全国シェア

	年産	全国における順位	出荷量(千本)		県/全国(%)	備考
			沖縄県	全国		
きく	平29	2位	283,700	1,504,000	18.9	1位 愛知県 3位 福岡県
切り葉	平29	2位	29,200	122,800	23.8	1位 東京都 3位 鹿児島県
洋ラン	平29	3位	1,490	15,400	9.7	1位 福岡県 2位 徳島県

資料：農林水産省「花き生産出荷統計」

花き産出額の推移

億円



資料：農林水産省「生産農業所得統計」



小ぎくの栽培状況



トルコギキョウの栽培状況
(災害に強い栽培施設の整備事業)



海外輸出調査(香港)



第33回沖縄県花き品評会審査



県産花き紹介コーナー(ホテル展示)



観葉鉢物のモノレール駅展示

(4) 果樹(パイナップルを除く)

本県の果樹は、初春のタンカンを皮切りに、夏場にはリゾート沖縄を象徴するマンゴー、8月中旬から全国に先がけて青切りの温州みかんが生産されている。

パイナップルを除く平成28年の産出額は44億円で、主な品目の生産量は、マンゴー1,296トン、タンカン1,130トン、シークワサー3,058トン、みかん305トンとなった。

果樹(主な品目)生産の推移

		単位	昭60	平2	平7	平12	平19	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28
マンゴー	結果樹面積	ha	6	44	109	202	214	220	228	239	245	249	249	242	245
	収穫量	t	48	278	635	1,290	1,410	1,467	1,711	1,620	1,227	1,597	1,931	2,035	1,296
タンカン	結果樹面積	ha	117	129	157	240	259	251	242	209	213	187	172	186	171
	収穫量	t	924	1,430	2,070	1,390	2,345	1,138	961	317	821	671	565	1,028	1,130
シークワサー	結果樹面積	ha	157	145	117	95	142	222	193	256	336	371	384	378	364
	収穫量	t	677	1,416	1,480	135	2,470	3,139	2,432	1,707	1,417	3,479	2,799	3,676	3,058
温州みかん	結果樹面積	ha	161	205	205	177	127	80	84	68	59	57	57	55	55
	収穫量	t	2,700	2,120	2,710	2,050	984	505	545	264	351	251	333	244	305
バナナ	結果樹面積	ha	-	67	67	41	22	24	22	19	21	14	20	-	-
	収穫量	t	463	174	249	150	100	151	179	70	124	58	115	107	174
パパイヤ	結果樹面積	ha	5	28	27	22	12	11	8	8	7	6	7	5	-
	収穫量	t	25	88	230	171	124	140	183	120	92	93	44	58	56
ドラゴンフルーツ	結果樹面積	ha	-	-	-	-	40	34	41	24	19	11	11	10	4
	収穫量	t	-	-	-	-	459	350	358	193	147	133	157	154	91
パッションフルーツ	結果樹面積	ha	-	-	-	-	15	17	15	15	14	12	13	9	12
	収穫量	t	-	-	-	-	146	158	132	113	90	79	119	103	121

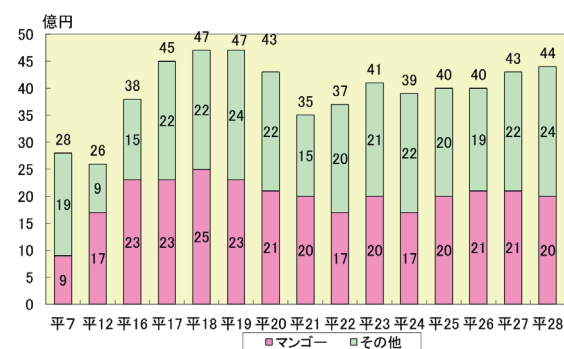
資料：内閣府沖縄総合事務局「園芸・工芸農作物市町村別統計書」、沖縄県園芸振興課資料（H30.12月現在）

主要果樹の全国シェア

	年産	全国における順位	生産量(t)		県/全国(%)	備考
			沖縄県	全国		
マンゴー	平27	1位	2,035	3,805	53.5	2位 宮崎県 3位 鹿児島県
パパイヤ	平27	2位	58	222	26.1	1位 鹿児島県 3位 宮崎県
シークワサー	平27	1位	3,676	3,678	99.9	2位 鹿児島県
タンカン	平27	2位	1,028	3,270	31.4	1位 鹿児島県 3位 宮崎県

資料：農林水産省「特産果樹生産動態等調査」

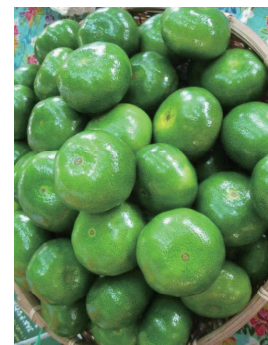
果樹(パイナップルを除く)産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」



マンゴー (アーウィン)



青切り温州みかん

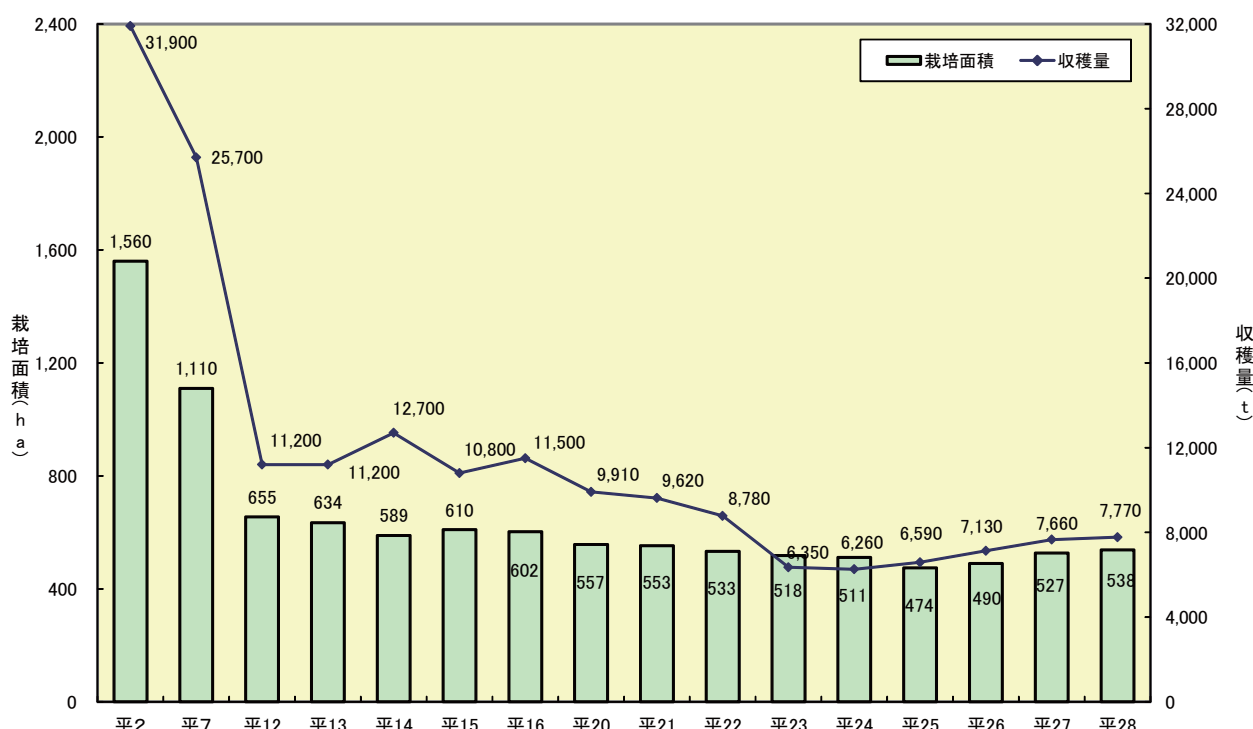
(5) パインアップル

パインアップルは、本県特産の果実として本島北部や八重山などの酸性土壌地域で栽培されている。

平成28年は、産出額13億円、栽培面積538ha、収穫量7,770トンとなっている。

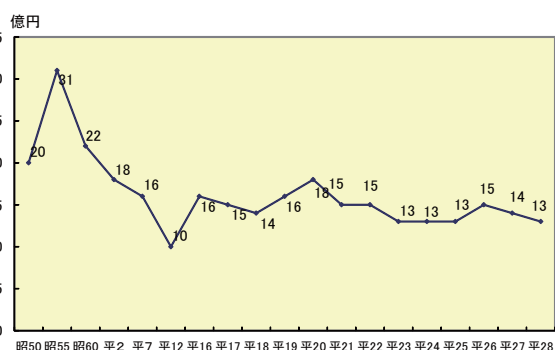
パインアップルの生産供給体制を強化するため、優良品種の普及等によるブランド構築、生食用と加工原料用生産のバランスのとれた生産体制の確立、ハウス導入による品質向上と出荷期間の拡大、機械化の推進による労力の軽減を図る。

パインアップル生産の推移

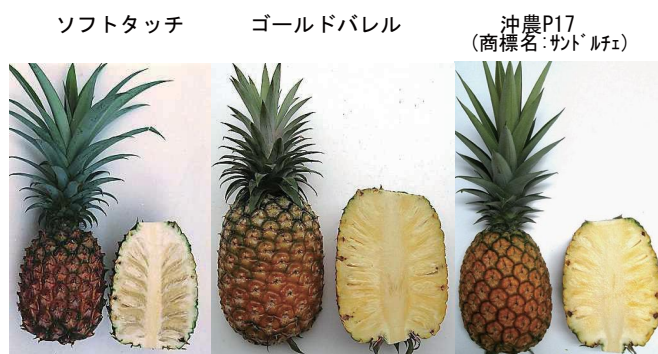


資料：農林水産省「農林水産統計データ：沖縄県のパインアップルの栽培面積・収穫面積・10a当たり収量・収穫量・出荷量」

パインアップル産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」



パインアップル生食用優良品種

(6) 葉たばこ

葉たばこは、さとうきびの複合作物として、宮古、八重山、伊江などの離島地域及び本島南部を中心に生産が行われ、地域の重要な作物として生産されている。

平成30年は、収穫面積874ha、収穫量2,097トンとなった。

葉たばこ生産の推移

	単位	昭47	昭50	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平22	平25	平26	平27	平28	平29	平30
収穫面積	ha	336	787	1,099	870	722	1,023	1,351	1,247	1,141	944	944	944	928	914	874
収穫量	t	605	1,391	1,681	1,843	1,389	2,359	2,522	1,850	2,249	1,762	1,803	1,415	1,813	1,968	2,097

資料：沖縄県たばこ耕作組合資料

(7) 水稲

本県の水稲は、本島北部離島や八重山地域を中心に生産されており、当該地域における重要な作物となっている。

平成30年は、作付面積716ha、収穫量2,210トンとなっており、そのうち一期作が作付面積527ha、収穫量1,920トン、二期作が作付面積189ha、収穫量285トンとなった。

水稲生産の推移

	単位	昭47	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
作付面積	ha	3,130	1,100	773	881	1,130	1,150	1,060	943	914	921	919	890	860	788	785	727	716
収穫量	t	7,780	2,810	2,390	2,520	3,740	3,580	3,000	2,890	2,680	2,540	2,450	2,390	2,240	2,320	2,300	2,190	2,210

資料：農林水産省「作物統計調査」等

(8) かんしょ

本県のかんしょ生産は、平成29年産で作付面積281ha、収穫量3,820トンとなっており、青果用や加工用に出荷・利用されている。

県内の拠点産地としては、読谷村、今帰仁村、八重瀬町具志頭、うるま市、久米島町、石垣市が認定されている。

かんしょ生産の推移

	単位	昭47	昭50	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29
作付面積	ha	3,050	1,850	658	483	453	408	293	275	253	254	249	252	252	263	263	294	281
収穫量	t	74,400	49,600	15,100	11,500	9,600	8,850	5,860	4,430	4,790	4,100	3,610	4,020	4,340	4,810	4,200	5,040	3,820

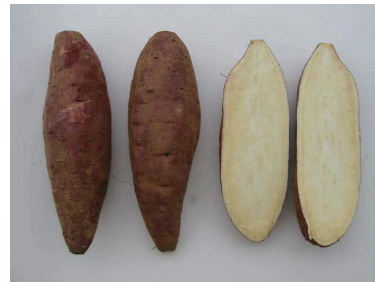
資料：農林水産省「作物統計調査」等



葉たばこ圃場



「ひとめぼれ」(石垣市)



奨励品種「ちゅらまる」

(9) 薬用作物

本県の薬用作物は、ウコン類、アロエベラ、クミスクチン、グアバ等が栽培され、お茶や健康食品として加工・販売されている。

県内の拠点産地として、名護市(ウコン)、南城市佐敷(薬用作物)、うるま市具志川(グアバ(茶))、与那国町(ボタンボウフウ)が認定されている。

薬用作物(主な品目)生産の推移

		単位	平12	平17	平21	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29
アロエ	収穫面積	ha	25.5	36.1	15.0	14.5	14.1	5.8	9.3	9.2	6.1	2.6
	生産量	t	66.4	68.9	34.2	36.2	12.0	9.5	10.0	10.3	9.7	4.5
ウコン	収穫面積	ha	32.9	39.9	32.2	55.6	17.9	41.8	32.7	30.0	37.5	51.3
	生産量	t	70.4	77.5	55.1	23.4	15.0	21.3	50.8	41.9	102.6	49.1
クミスクチン	収穫面積	ha	0.9	3.7	2.2	2.2	2.5	2.3	2.4	2.4	1.0	1.0
	生産量	t	4.5	9.4	4.5	4.3	6.5	3.7	4.3	4.3	2.5	1.6
グアバ(茶)	収穫面積	ha	1.4	5.7	5.9	5.2	5.1	5.0	5.0	4.6	5.1	2.3
	生産量	t	1.6	3.5	2.7	5.4	7.8	7.7	7.7	7.7	6.2	6.1
ボタンボウフウ	収穫面積	ha	0.5	5.6	15.4	25.3	27.2	27.1	27.0	27.0	27.0	22.0
	生産量	t	0.8	3.3	11.8	22.7	32.3	26.3	35.4	29.5	29.9	37.8

資料：沖縄県糖業農産課資料



茶の栽培状況



紫ウコン(ガジュツ)、春ウコン、秋ウコン



ボタンボウフウ(長命草)

(10) 茶

茶は、主に沖縄本島中北部の山間傾斜地で栽培され、温暖な気象条件のもと、一番茶が他府県より1か月早く収穫できる有利な条件にあり、地域特産物として生産・加工が行われている。

茶生産の推移

	単位	昭47	昭50	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平21	平23	平24	平25	平26	平27	平28
栽培面積	ha	110	109	83	72	66	63	45	41	41	40	38	36	32	31	30
生葉収穫量	t	784	1,118	862	776	482	474	394	-	278	-	-	-	152	-	-
荒茶生産量	t	-	244	178	154	92	95	78	-	57	-	-	-	31	-	-

資料：農林水産省「作物統計調査」

注：平成17年以降、栽培面積以外については、5年周期年調査に移行。

平成29年以降から全国調査は6年毎の実施に変更。

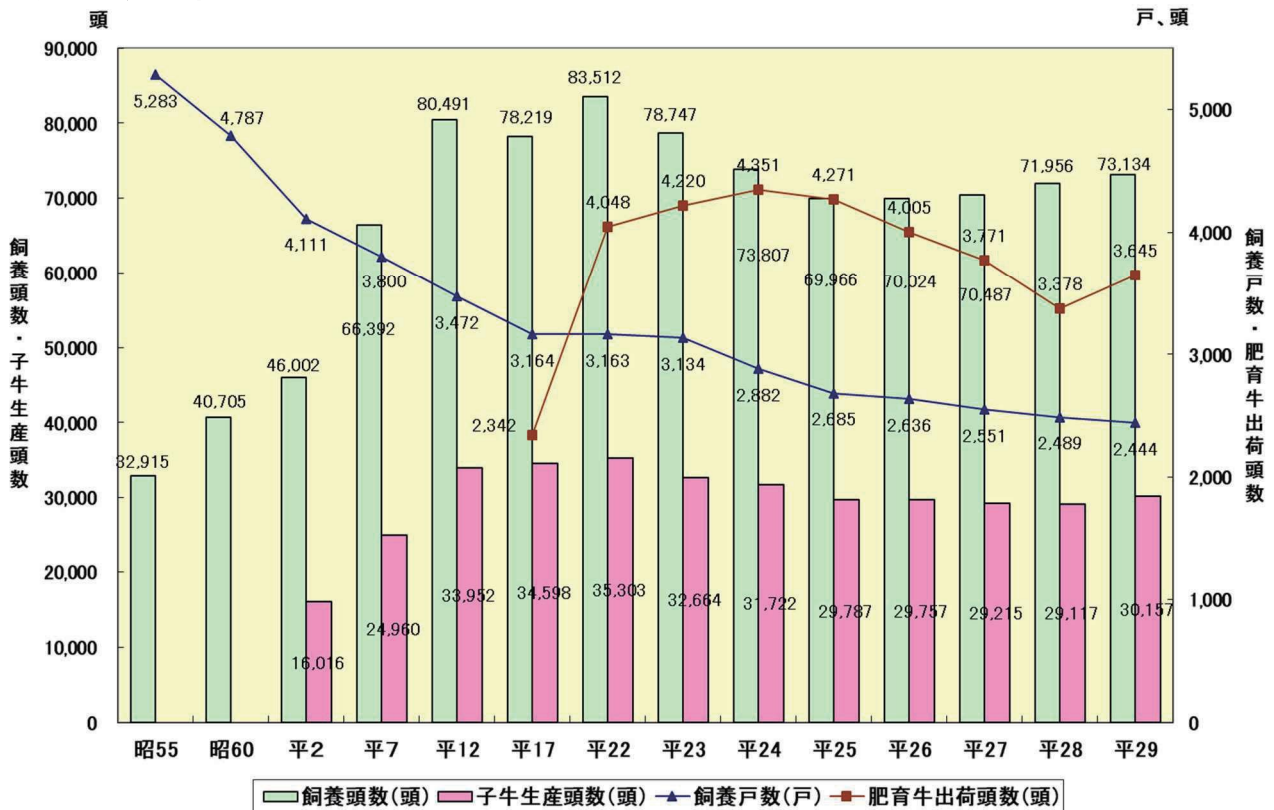
(11) 肉用牛

本県は、平成 29 年の子牛生産頭数が 30,157 頭、家畜市場での取引頭数は 24,512 頭で全国第 4 位の子牛生産地となっており、肥育牛においても「石垣牛」等の肥育牛が「おきなわブランド」として、国内外で評価が定着してきている。

平成 29 年度の肉用牛産出額は、過去最高の 228 億円となり畜産産出額の約半数を占め県内畜産のリーディング産業となっている。

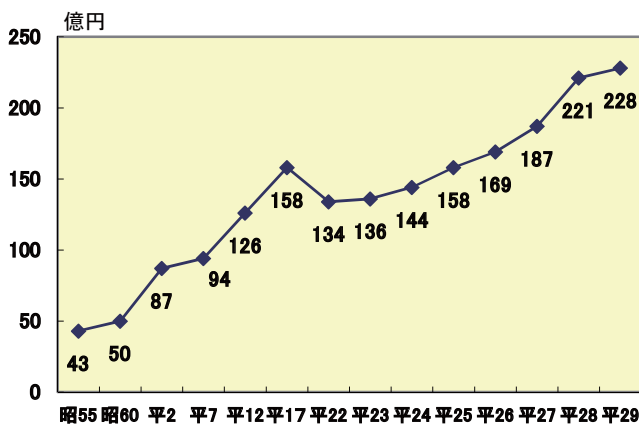
さらに、平成 30 年度には、うるま市が県内 8 番目の肉用牛（子牛）拠点産地として認定され、出荷子牛の資質向上や生産頭数の増加に向けて、他の産地と切磋琢磨し産地の強化に取り組んでいる。

肉用牛生産の推移



資料：沖縄県畜産課「12月末家畜・家きん等の飼養状況調査」、(社)日本食肉格付協会「牛枝肉格付情報」(年次集計)

肉用牛産出額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」



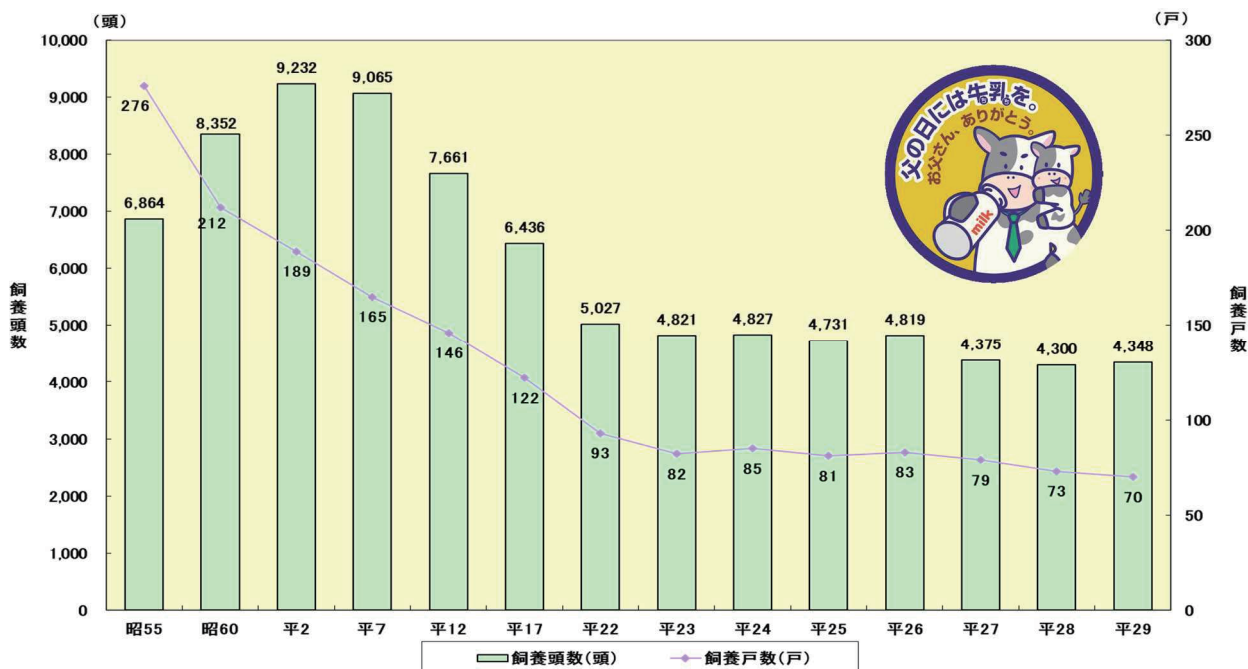
うるま市肉用牛(子牛)拠点産地認定式

(12) 酪農

本県の酪農は、県内市場への県産生乳の供給や学校給食への生乳供給によって、県民の健康増進に大きく寄与している。

一方、担い手不足、育成牛や飼料価格の高騰等によって、飼養戸数、頭数ともに減少傾向にある。安定的な生乳生産を図るため、自家育成等の推進や自給飼料の増産等による生産コスト低減に努めている。

乳用牛生産の推移



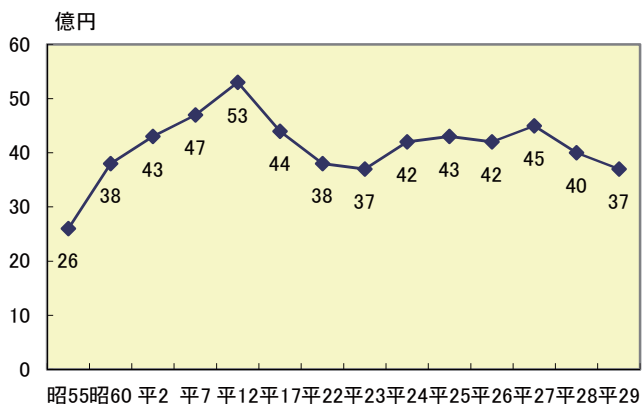
資料：沖縄県畜産課「12月末家畜・家さん等の飼養状況調査」

生乳生産量・生乳自給率の推移

	単位	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29
生乳生産量	トン	17,879	26,202	31,208	37,756	42,999	37,787	28,031	27,360	28,049	28,281	26,797	26,682	25,812	24,758
生乳自給率	%	48.3	60.7	71.9	78.8	96.9	96.6	80.6	84.0	87.7	88.3	87.9	86.3	85.7	83.7

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計調査」、沖縄県畜産課資料

乳用牛生産額の推移



資料：農林水産省「生産農業所得統計」



「父の日には牛乳(ちち)を贈ろう」キャンペーン